



● 入居対象者・暮らしの提案 ●

LIFE & WORK ～子育てと仕事を両立する住まい～

【世帯】 母親1人、子ども1人
【収入】 パート+児童扶養手当

・家賃の負担が大きい
・孤立しやすい
・精神的な負担が大きい
・地域との関わりが少ない

シングルマザーが子育てと仕事を無理なく両立しながら、個人の小さな教室や託児所、ネイルサロン、エステなどを開業。子どもを身近で見守りながら働き、地域住民等が利用することで、仕事と子育てだけでなく、地域とのつながりも育まれる。

みまもる、はたらく、つながるが一体の、安心して暮らせる住居を目指す。

● 工夫・配慮 ●

「危ない」を減らし、「できる」を増やす家

コーナーガード
家具の角にコーナーガードを設け、危険だからと行動を制限するのではなく、自由に遊び、動き回れる環境を。

ゆっくり閉まる引き戸
勢いよく閉まらないようにすることで、指挟みなどの危険を防ぎ、子ども自身が安心して建具を開け閉めできる。

座れる玄関収納
収納を腰掛けられる高さとし、一体化することで、自分で靴を履く、脱ぐ、収納する力を身に付ける。

プライバシー・防犯
生活空間と交流空間の間に鍵を設け、利用者の立ち入りを制限。自分で遊びや生活を安心して楽しめる環境をつくる。



● Plan ●

1 畳ユニットによるリビング構成
畳ユニットは 600×1200×400mm
子育てでは玩具や衣類、学用品など成長に伴い収納量が増えるため、引き出し収納を備えることで、限られた住空間を有効に活用。
自由に組み替えることで、子どもの成長や暮らし方に合わせて空間を変化できる。

2 はたらく、つながる
特技や趣味を生かして仕事に挑戦できる空間。個人塾や託児所、小さなレッスン、エステ・ネイルサロンなど、さまざまな使い方に対応し、自分らしい働き方で生計を立てる。仕事と暮らしを無理なく両立できる場となる。

3 みまもるキッチン
アイランド型キッチンを採用することで、調理中もリビングに視線が届きやすく、家事をしながら見守ることができる。

平面図 1/100

● 他の汎用例 ●

他の住宅要配慮者に向けて

チャレンジルーム＝特定の建築構成だけに対応する部屋ではなく、住む人の状況に応じて役割を変えられる部屋

1 要介護高齢者 × 独身の子ども
子どもが仕事で不在の間も、デイサービスの送迎や訪問介護を直接受け入れられる。生活空間との境界に鍵を設けているため、プライバシーを守りながら支援を受けられる。

2 精神的な特性のある子ども
生活空間との間には鍵を設けられているため、親が仕事で不在の間も、キッチンなど危険のある場所への不用意な立ち入りを防ぐ。南側の明るく自然光の入る環境で、自分のペースで過ごせる安心な居場所をつくる。

3 外国人留学生
寝室とチャレンジルームをそれぞれの居室として活用し、2人で暮らす。個室を確保しながら、リビングなどの共有空間で交流できることで、プライバシーとコミュニケーションを両立した低価格な暮らしとなる。